

# 平成 26 年 度 事 業 計 画 書

公益財団法人 神奈川県下水道公社

## I 基本方針

当社は、下水道公社定款に基づき、流域下水道及び流域関連公共下水道の維持管理に関する業務を行うほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を遂行します。

事業の実施にあたっては、「公益財団法人神奈川県下水道公社第5期経営改善計画」に基づき、更なる運営の健全化・効率化を推進すると共に、一層の経費の削減に取り組みます。

## II 公益目的事業

当社は、前記基本方針に基づき、次に掲げる公益目的事業を行います。

- 1 流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務に関すること。
- 2 下水道の水質分析等の技術的業務に関すること。
- 3 下水道知識の普及・啓発活動及び下水道の研修に関すること。
- 4 汚水及び汚泥の処理方法についての調査及び研究に関すること。

## III 事業計画

### 1 受託事業

当社は、神奈川県が設置する流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務及び流域関連公共下水道の水質分析等技術的業務を受託し、創意と工夫をもって主体的に業務に取り組み、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行います。

#### (1) 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場施設等の維持管理を行うほか、下水道の普及啓発活動を行います。

なお、扇町管理センターでは平成26年度から5年間の包括的民間委託を導入します。

#### ア 主な維持管理施設等の概要

平成26年度に県から受託する主な下水道維持管理施設等は、次表のとおりです。

処 理 場 施設・設備		相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
		四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
敷地面積 (ha)		26.9	19.6	9.8	7.0
水 処 理	(m <sup>3</sup> /日)	6 系列	9 系列	3 系列	2 系列
	施設能力(日最大) (日平均流入量)	322,800 (265,890)	539,100 (439,600)	108,000 (55,090)	56,480 (40,250)
汚泥脱水設備		ベルト 4 台 遠心 2 台 スクリーン 1 台	ベルト 1 台 遠心 3 台 ロータリー 1 台 スクリーン 2 台	スクリーン 4 台	ベルト 2 台
汚泥焼却設備 (日最大能力 計)		4 基 (380 t/日)	4 基 (660 t/日)	2 基 (90 t/日)	2 基 (60 t/日)
管渠(流域幹線)		37,960 m	89,470 m	26,920 m	19,340 m
ポンプ場		2 箇所	6 箇所	1 箇所	—
上部利用施設		四之宮 ふれあい広場 5.25 ha	柳島 しおさい広場 7.0 ha	酒匂 きらり広場 1.3 ha	扇町 しらさぎ広場 1.2 ha

(注) ・汚泥脱水設備の「ベルト」はベルトプレス、「スクリーン」はスクリーンプレス、「ロータリー」はロータリープレス  
・上記維持管理施設には、平成 26 年度中に新規供用開始予定の設備及び年度の途中で休止する設備を含む。

## イ 下水処理

神奈川県流域下水道事業連絡協議会で策定した計画流入下水量に基づき、次表に示す流入下水を処理します。

流 域	下水処理場 (管理センター)	計 画 流 入 下 水 量 (千 m <sup>3</sup> /年)		
		平成 26 年度	平成 25 年度	増 減 (前年比%)
相模川	四之宮	97,050	96,652	398 (100.4)
	柳 島	160,454	159,335	1,119 (100.7)
	相模川計	257,504	255,987	1,517 (100.6)
酒匂川	酒 匂	20,108	19,945	163 (100.8)
	扇 町	14,693	14,607	86 (100.6)
	酒匂川計	34,801	34,552	249 (100.7)
合 計		292,305	290,539	1,766 (100.6)

下水の処理にあたっては、常に良好な放流水質の維持に努めます。

また、台風やゲリラ豪雨の発生により多量の下水が処理場に流入する非常時においても適宜適切な運転操作を行い、川や海の環境保護に努めます。

#### ウ 汚泥処理

発生した汚泥等は、全量焼却処理し、発生する焼却灰は建設資材の原材料の一部として資源の有効活用と環境保護に努めます。

#### (ア) 汚泥等発生量

流域	下水処理場 (管理センター)	汚泥等発生量 (t/年)		
		平成 26 年度	平成 25 年度	増 減 (前年比%)
相模川	四之宮	63,737	59,772	3,965 (106.6)
	柳 島	131,251	125,418	5,833 (104.7)
	相模川計	194,988	185,190	9,798 (105.3)
酒匂川	酒 匂	20,261	20,869	△608 ( 97.1)
	扇 町	8,657	10,093	△1,436 ( 85.8)
	酒匂川計	28,918	30,962	△2,044 ( 93.4)
合 計		223,906	216,152	7,754 (103.6)

#### (イ) 焼却灰等処分量

流域	下水処理場 (管理センター)	焼却灰等処分量 (t/年)		
		平成 26 年度	平成 25 年度	増 減 (前年比%)
相模川	四之宮	1,793	1,787	6 (100.3)
	柳 島	3,944	3,601	343 (109.5)
	相模川計	5,737	5,388	349 (106.5)
酒匂川	酒 匂	501	509	△8 ( 98.4)
	扇 町	228	218	10 (104.6)
	酒匂川計	729	727	2 (100.3)
合 計		6,466	6,115	351 (105.7)
		[ ①5,674 ②0 ③792 ]	[ ①5,331 ②169 ③615 ]	

(注) ・合計欄の〔 〕は合計数量の内訳で、①は乾灰、②は加湿灰、③は焼却沈砂

・上記の他に、保管中の焼却灰(平成 26 年 4 月 1 日予定 約 2,410 t 保管中のうち、1,135t)を処分する予定。

## エ 放射能対策

放流水や焼却灰等（保管中の灰も含む）の放射能濃度や処理場敷地境界線での放射線量の測定を実施し、状況の把握に努めるとともに適正な管理を行います。

また、保管中の焼却灰等の減量に努めます。

## オ 機器設備等の管理

機器・設備の状態を把握し管理の最適化を図ります。

また、長寿命化計画策定のために老朽化が進む施設・設備について健全度診断や施設台帳の整備を行います。

## カ 危機管理体制の強化

事故発生時の様々なリスクや災害時に下水処理場が被災した場合に、被害を最小にし処理を継続するための体制の強化を図ります。

## キ 環境対策

作業環境等に関する次の測定調査を行い、作業環境の向上及び環境保護に努めます。

(ア) 水質実験室作業環境測定

(イ) 焼却施設作業環境測定

(ウ) クリプトスポリジウム測定調査

(エ) 敷地境界線等臭気測定調査

(オ) 焼却炉排ガス等測定調査

## ク 普及啓発

下水道知識の普及啓発のため、県民・地域の方にとって見えにくい下水道に対して、より分かりやすく親しまれる下水道となるよう、また、災害時には利用者や地域住民の方に連携・協力してもらえるように、下水道の「みえる化」を進めるため、次の事業を実施します。

(ア) 施設見学の案内

県民の環境に関する関心は年々高まり、毎年多くの施設見学者が処理場に訪れます。大人から子供まで幅広い層に応じて、神奈川県内の流域下水道の現況や下水道の役割などを説明し、また、可能な範囲で処理場施設を見学していただき、下水道に関する県民の理解を深めます。

(イ) 「下水道ふれあいまつり」の開催

処理場施設の一部を開放して、処理場施設見学や下水道学習室、地元住民の

演奏・踊り、ゲームや模擬店などを行い、県民の下水道に関する理解と関心を深めます。

- ・主 催：神奈川県、下水道公社
- ・共 催：相模川及び酒匂川流域関連市町
- ・開催時期：平成 26 年 10 月
- ・開催場所：相模川流域は、柳島管理センター  
酒匂川流域は、酒匂管理センター

(ウ) パンフレット等の配布

県民の下水道に関する理解を深めるため、下水道のしくみや情報を分かりやすくまとめたパンフレット等を県、流域関連市町、小学校等へ配布します。

(エ) ホームページ

ホームページの充実を図り、処理場の維持管理や公社に関する様々な情報について提供します。

<主なメニューの内容>

- ▶下水道の維持管理
- ▶下水道のしくみ
- ▶イベント
- ▶お知らせ
- ▶公社情報
- ▶入札情報
- ▶リンク

ケ 上部利用施設

各処理場の上部利用施設の適正な管理に努めます。

施設名	処理場	面積	主な施設内容
四之宮ふれあい広場	四之宮管理センター	5.25 ha	多目的広場、テニスコート(6面)、フットサルコート(1面) ほか
柳島しおさい広場	柳島管理センター	7.0 ha	多目的広場、テニスコート(4面)、少年サッカーコート(1面)、遊水池 ほか
酒匂きらり広場	酒匂管理センター	1.3 ha	多目的広場、遊び広場、お花見広場、噴水池 ほか
扇町しらさぎ広場	扇町管理センター	1.2 ha	芝生広場、ちびっこ広場、遊具広場、軽運動広場、噴水池 ほか

コ 水質規制支援業務

下水処理場の下水を安定して処理するため、流域関連市町が行う特定事業場等の監視・指導に協力し、維持管理に支障をきたす下水の流入防止を図ります。

(ア) 研修会の開催

a 水質規制担当者特別研修会

流域関連市町で事業場排水の水質規制を担当している職員を対象として、

事業場に対する監視・指導に関する知識・技術を向上させ、公正かつ効果的な水質規制を行うことを目的として研修会を開催します。

b 事業場排水担当者研修会

事業場の排水担当者を対象として、下水道法の解説や下水へ排水する際の注意点など、安定して下水道を利用するための研修会を開催します。

(イ) 水質規制技術支援業務（アシスト下水道）

流域関連市町が行う施設立入検査への技術支援や水質異常時の原因究明調査など、維持管理で培ったノウハウを活かした技術支援を行います。

(ウ) パンフレットの配布

公共下水道を使用する事業者向けに、水質基準や届出等を解りやすく説明したパンフレットを流域関連市町に配布します。

(2) 下水道の水質分析等受託事業

流域関連市町から特定事業場の下水の水質分析を受託し、特定事業場の排水の採水及び水質の分析を行います。

また、水質異常値の調査への協力及び排水設備改善等に関する情報提供を行い、流域下水道と流域関連公共下水道の一体的な水質管理に寄与します。

区 分	計 画 数								
	受託市町数			調査事業場数			水質分析数		
年度 流域	26 A	25 B	差異 A - B	26 A	25 B	差異 A - B	26 A	25 B	差異 A - B
相模川	9	9	0	137	140	△3	10,227	10,602	△375
酒匂川	6	6	0	40	38	2	3,699	4,097	△398
計	15	15	0	177	178	△1	13,926	14,699	△773

## 2 自主事業

当社は、広く県民に下水道の役割や下水道の仕組み等下水道に関する知識の向上を図り、また、下水処理施設の維持管理における技術的な調査研究を行い、下水道維持管理コストの削減や県が行う下水道施設の建設・改築更新への助言・提言を行うなど、下水道事業の推進に協力し、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行います。

### (1) 下水道知識普及啓発事業

ア 「下水道ふれあいまつり」の開催 (P.4 - ク普及啓発(イ)の再掲)

処理場施設の一部を開放して、処理場施設見学や下水道学習室、地元住民の演奏・踊り、ゲームや模擬店などを行い、県民の下水道に関する理解と関心を深めます。

- ・主 催：神奈川県、下水道公社
- ・共 催：相模川及び酒匂川流域関連市町
- ・開催時期：平成 26 年 10 月
- ・開催場所：相模川流域は、柳島管理センター  
酒匂川流域は、酒匂管理センター

イ 下水道作品コンクールの実施

将来を担う子供達に下水道に対する関心を深めることを目的として、流域関連市町の小学校 4 年生を対象として、作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施します。

応募作品は、第三者機関による公正な審査を経て優秀作品を選出し、入賞者には表彰式を開催して表彰します。

また、入賞された優秀作品は、翌年度に開催する広報活動事業に活用します。

○作品コンクール表彰式

- ・開催時期：平成 27 年 1 月
- ・開催場所：平塚市内

ウ 下水道担当職員研修会の実施

県及び市町村が行う下水道事業を所管する担当職員を対象に、下水道に関する幅広い知識の修得を目的として、次の研修会を実施します。



研 修 会 名	開 催 時 期	研 修 概 要
一般コース	平成 26 年 7 月頃	下水道に関する法令や下水処理場の仕組みなど、基礎的な知識に関する研修
専門技術コース	平成 26 年 11 月頃 から 12 月頃	下水道に関する新技術や技術的な課題に関する専門的な知識に関する研修
管理者コース		下水道事業に関する国の政策や地方公共団体が抱える下水道に関する課題等に関する研修

## エ 下水道教室の実施

### (ア) 下水道出張教室

公社職員が流域関連市町の小学校へ出向き、小学 4 年生の授業の中で、下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、子供達が顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察する「下水道出張教室」を実施します。

- ・実施計画数：21 校 （前年度：20 校）

### (イ) 夏休み下水道教室

流域関連市町に在住する方を対象として、夏休み期間に下水処理場へ来ていただき、公社職員が下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察したり、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験を行い、実際に下水処理場施設を見学していただく「夏休み下水道教室」を実施します。

- ・実施計画数：3 回 （前年度：2 回）

## オ 市町主催の環境イベントへの参加

流域関連市町が主催する環境等に関するイベントに公社が参画し、来場者に下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割などについて PR します。

- ・参加計画数：6 回 （前年度：5 回）

## (2) 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

下水処理場施設の維持管理を行う上で発生する様々な技術的課題事例を捉え、公社職員がこれまで蓄積してきた豊富な経験や専門的な知識に基づき、下水道維持管理コストを削減するノウハウや施設の改善策などについて調査研究し、調査の結果得られた研究成果については、調査研究報告書にまとめて研究成果を公表するとともに、様々な研究発表会で発表します。

- ・調査研究計画数：2件（前年度：3件）